

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 分散協調型 EMS における地球科学情報の可用性向上とエネルギー需要モデルの開発
2. 研究代表者： 中島 孝 （東海大学情報技術センター／情報理工学部 教授）
3. 中間評価結果

ひまわり 8 号観測データから日射量を推定するアルゴリズムを開発し、解析結果を速報する準リアルタイム解析システムの構築や衛星観測データと地球科学モデルの融合的解析による新しい日射量短時間予測技術の構築について取り組んでいる。また、住宅・業務施設群を対象として電力ロードカーブを中心とするエネルギー需要、とりわけ分散協調型エネルギー管理システムにおいて調整が可能な可制御負荷の大きさ・応答速度を分オーダーで推計するエネルギー需要モデルを開発するなど、「需要科学の確立」という学術的に新しい概念構築に取り組んでおり、エネルギー需要モデルの開発には非常に期待が高い。また、日射量予測の技術確立に関しても、産業界にとって喫緊の課題であるため、継続して研究を推進して頂きたい。

地球科学データ、エネルギー需要データを中心としたデータインタフェースに関しては、当初の計画より遅延しているため、今後、他チームとの連携を更に強化し、データ活用の効用を示す必要がある。